

2020

12月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第196号①【基準日 2020年11月30日】



🌸 社長メッセージ



上昇相場でも平常心で



ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介

皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。早いもので今年も師走になり残りわずかとなりましたが、いかがお過ごしでしょうか？

今年は新型コロナウイルスの感染拡大流行に振り回されたまま一年を終えることになりそうです。足元、全国で感染拡大の第3波に見舞われており、感染者数は15万人を超え、重傷者数の増加、医療現場の逼迫した状況など予断を許さない状況が続いております。私達一人一人にできることは限られておりますが、自分も感染しているかもしれないと考えて周りの人にうつさないようにマスク着用、手洗い、うがい、3密を回避することなど自分でできる感染防止対策を徹底していくしかありません。徐々に寒さも厳しくなってきましたので、皆さまくれぐれもご自愛ください。

さて、先月の世界株式市場は米国大統領選挙でのバイデン氏の勝利や欧米の製薬企業の新型コロナワクチンの良好な治験結果を材料に、景気回復期待が高まり、大幅に上昇した1ヶ月となりました。特に、新型コロナの影響で大きく売り込まれていた業種や景気敏感株を中心に大きく上昇いたしました。その一方で、今まで上昇相場を牽引してきたテクノロジーやヘルスケア関連のグロース銘柄の上昇は相対的に大きくありませんでした。日本株については世界の景気敏感株とも言われており、景気回復期待の恩恵を受けるだろうということで、今までグロース株に対して出遅れていた景気敏感株、バリュー株を中心に外国人投資家の買いも入り大きく上昇しました。日経平均株価の月間の上昇率は15.04% (3456円49銭上昇)となり、過去3番目の上昇幅となりました。



そのような中、ありがとうファンドの先月の騰落率は月間9.1%の上昇となり、基準価額は22,000円を超えて過去最高値を更新しました。参考までに世界株は11.7%の上昇、日本株TOPIX配当込みは11.1%の上昇でしたので相対的に出遅れる形となりました。ありがとうファンドの投資先は景気変動に左右されずに持続的に成長していくクオリティグロース銘柄が中心なので、景気敏感株(エネルギー、素材、金融、自動車、旅行、レジャーなど)やバリュー株を中心に相場全体が大きく上昇する局面では全体の上昇にはついていけない傾向があります。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

今回の世界各国の株価の大幅上昇の要因としては、各国政府・中央銀行による財政政策や金融緩和による過剰流動性が考えられ、低金利、マイナス金利の環境下で、株式市場にお金流れ込む動きになっています。新型コロナウイルス感染は欧米でも再拡大している中、実体経済と株式市場の乖離はさらに大きく広がっているのが現状です。新型コロナ対策の財政政策・金融政策が変わらない限りは、しばらくはこの適温相場の状態が続く可能性があります。景気や企業業績の回復が期待通りに進まない、ファンダメンタルズから見た割高感から、大きく調整する可能性もあるので引き続きボラティリティの高い相場状況が続くと思われます。



上昇相場でも平常心で資産運用を続けよう

以上のように世界の株式市場は、新型コロナウイルス感染拡大とは対照的に上昇を続けています。米国のNYダウは3万ドルを突破して最高値を更新し、日経平均株価も2万6000円を超えてバブル後最高値を更新しました。3月には日経平均株価が16000円台まで下落したので、そこからわずか8カ月あまりで1万円も上昇したことになります。

大きく値上がりしているのに、上り過ぎて逆に怖くなってしまっているお客様も少なくないかもしれません。行動ファイナンスのプロスペクト理論では、人は利益が出ている局面ではリスク回避的になる傾向があるとされていますので、株価が短期間で大きく値上がりすることで逆に不安になり怖くなってしまふのは自然な感情であるとも言えます。



現在の株価上昇の理由は上記の通り、金融緩和による過剰流動性と将来の景気・業績回復期待によるものなので、何らかの要因によって広がり過ぎた実体経済との乖離を埋めるように、株価が下落して実体経済に近づく可能性もあるかもしれません。しかしながら、短期的な相場変動を予測しようとしても、正確に当てることは難しく、労力がかかり、日々のマーケット動向に一喜一憂するばかりで、そこから得られるものはそれほど多くはないでしょう。

価格変動するリスク資産に長期投資して資産運用をしていると上昇相場も下落相場も経験することになります。上がったも、下がっても価格変動に一喜一憂してしまうのが人間の自然な感情ですが、タイミングを計るのではなく、時間を味方につけることが長期の資産運用では大事になってきます。

資産運用で大切なことは上昇相場でも下落相場でも平常心で目標(ゴール)に向かってマイペースで資産運用を継続していくことです。周囲と比較したくなりますが、自分の資産運用の目標と他人の目標は同じではありませんので、周囲を気にせずにマイペースで自身の資産運用の目標に向かって5年、10年、20年と資産運用を続けることが大切です。資産運用は継続しなければ、リターンを享受することはできません。たとえ成績の良い投信や低コストのファンドをうまく選んで購入したとしても、投資を途中で止めてしまふのは長期的なリターンを得ることも目標を達成することもできません。

もし途中で使う予定が出てきたら必要な額だけ相場に関係なく定期的に換金して引き出しをすればよくて、当面使う予定がなければ上がったも下がったも相場を気にせずに、そのまま資産運用を続けることが目標を達成するためには大切なことです。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

グローバルな成長企業に投資する投資先ファンドを追加

ありがとうファンドでは、11月30日付で信託約款を変更して、中長期的な運用成果の向上を目指して投資先ファンドを追加いたしました。追加したファンドは、『アリアンツ・グローバル・エクイティ・グロース クラス W(ルクセンブルグ籍米ドル建外国投資法人)』です。

主に景気サイクルに影響を受けにくい質の高さと、構造的な成長ドライバーを併せ持つグローバル企業の株式に厳選投資して、長期的に高いリターンを獲得を目指すファンドです。既に投資対象として実績のあるアリアンツのユーロランド・エクイティ・グロースファンドとヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクトファンドの2本を運用している同一のチームが運用するグロース株ファンドで投資哲学、運用戦略は同一となり、投資ユニバースがグローバルになりますので、米国、欧州企業を中心に全世界が投資対象となります。米国株への投資割合が約5割、欧州株が約3割、新興国その他が約2割となっており、50～80社に厳選投資しております。



運用成績はベンチマークをアウトパフォームしており、コロナ禍においても銘柄選択効果を発揮して高い運用成果を残しております。ありがとうファンドのポートフォリオには、既存ファンドと一部スイッチングして追加していく予定です。また、国・地域別の基準資産配分比率については、日本:先進国:新興国:その他=6:60:28:6に変更いたしました。

新投資先ファンドを追加することで、今後のありがとうファンドの中長期的な運用成果の向上に貢献してくれるものと期待しております。

今回の投資先ファンド追加に伴って、ありがとうファンドの実質的な信託報酬が年率1.55%±0.2%(概算・税込)に引き下がりました。

弊社はこれからも短期的な相場動向に一喜一憂せず、世界経済の成長及び企業利益の成長の恩恵を享受すべく長期国際分散・厳選投資でダウンサイドリスクを抑えながら安定した運用成果を残せるように資産運用して参りますので、今後とも引き続きありがとう投信をご愛顧いただきますようお願い申し上げます。



🌸 積立投資のススメ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



**タイミングを見計らうのではなく、
時間を味方につけていきましょう！**

期間	平均取得単価	損益
1年	19,155円	+14.9%
3年	18,539円	+18.8%
5年	17,393円	+26.6%
10年	13,245円	+66.2%
初回(2004年10月)から	11,768円	+87.1%

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	13万7936円
3年	36万円	42万7557円
5年	60万円	75万9543円
10年	120万円	199万4833円
初回(2004年10月)から	194万円	362万9622円

2020年11月30日現在(基準価額:22,018円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

年末年始の営業時間のお知らせ

年末年始の営業時間及び注文申込受付時間につきまして、下記の通りとなります。
尚、注文申込受付時間以降のお申込みにつきましては、翌営業日の受付扱いとなります。
また、「マイページ WEB システム」は、年末年始もご利用いただけます。

	営業日	営業時間	注文申込受付時間
年末	2020/12/30(水)	8:30~17:30	8:30~15:00
年始	2021/1/4(月)		

年内に受渡を完了する最終注文日についてのお知らせ

特定口座で年内の受渡完了を希望されるお客さまは、以下が最終注文日となります。
尚、注文の締切時間は 15 時となります。15 時を過ぎますと翌営業日以降の注文となりますのでご注意ください。

注文区分	受付日	約定日	受渡日
購入	12/24(木)	12/28(月)	12/29(火)
換金	12/23(水)	12/25(金)	12/30(水)

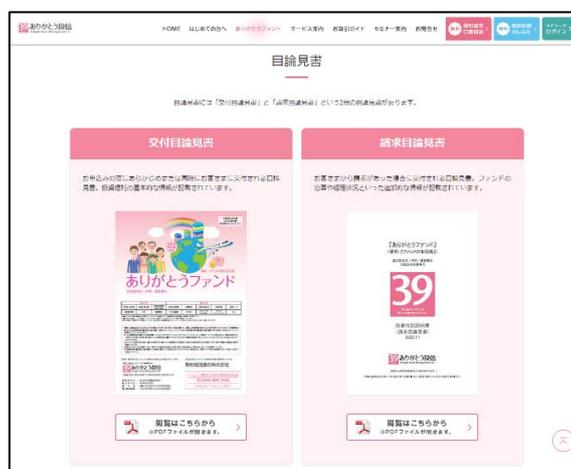
目論見書改訂のお知らせ

『ありがとうファンド』の有価証券届出書を 11 月 30 日付で関東財務局に提出したことに伴い、目論見書の記載内容を変更いたしました。目論見書の交付をご希望のお客さまには、マイページ上での交付、または郵送させていただきましたので、ご確認くださいませようお願いいたします。

尚、今後目論見書の交付が不要なお客さまは、弊社カスタマーサービス部までお問い合わせください。(※目論見書の重要な変更時にはすべてのお客さまにお送りいたします。)

また、ホームページ上にも目論見書を公開しております。

こちら(<https://www.39asset.co.jp/39fund/prospectus/>)からご覧ください。



毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】	【定期の引落し金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2020年 12月分	11月5日(木)	11月25日(水)	12月7日(月)	12月15日(火)	12月17日(木)
2021年 1月分	12月3日(木)	12月23日(水)	1月6日(水)	1月15日(金)	1月19日(火)
2021年 2月分	1月5日(火)	1月27日(水)	2月8日(月)	2月17日(水)	2月19日(金)
2021年 3月分	2月4日(木)	2月24日(水)	3月8日(月)	3月16日(火)	3月18日(木)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

12月	25日(金)	クリスマス	ニューヨーク証券取引所休業日 ルクセンブルクの銀行休業日
1月	18日(月)	キング牧師誕生日	ニューヨーク証券取引所休業日
2月	15日(月)	ワシントン誕生日	ニューヨーク証券取引所休業日



ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99%(税抜 0.9%)以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.55%±0.2%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

■R&I ファンド大賞について

R&I「ファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。